

瑞祥新春

管長さんの年頭あざけり



総本山金剛峯寺座主
高野山真言宗管長
松長 有慶

平成二十四年、壬辰歳の新しい日の出を迎えました。大師信仰に燃える皆さま方に、心からお慶びの言葉を呈上させていただきます。

関西では奈良のお水取りが終わると、春が来たという言い慣わしがあります。またお正月に若水を汲むという古いしきたりも春を連想させます。相撲の水入りも、気のなえた力士に、生気を取り戻す儀式に他なりません。日本文化の伝統では、水は失った万物のエネルギーを回復し、動植物を蘇生させる原動力で、いのちの象徴と信じられてきました。

しかし私たち日本人は昨年、相次いで水によって人の生命や土地、家屋、財産などを一挙に失う未曾有の災害を経験しました。忘れもしない三月十一日の東日本大震災による大津波、それに九月初旬の紀伊半島の大水害は、生命の根源である水がまた多くのいのちを奪い去るといふ冷厳な事実を、私たちの前に突きつけたのです。

大津波や大水害によって、ご親族の尊い命や、財産を失い、仮設住宅で不自由な暮らしをなさったり、異郷に移転されて心細い生活を余儀なくされておられる方の心境を思うと、胸がたえず痛みます。

一日も早く被害地の方々で元気を取り戻し、新しい出発が出来ますよう共に祈り続けて参りたいと存じます。

真言密教の修法では、水のことを「閻伽」と言い、その御真言では、「虚空にも等しい無比の力をもつものよ」と呼びかけられます。

水のもつ力強い再生力は、宇宙に潜む無限の力を結集して万物を甦らせ、輝かせます。春を私たちの方に引き寄せる原動力でもあります。

新しい年を迎えるにあたり、若水を汲み、被災地の早期の復興と、人びとの心の傷の癒し、さらに萎えて精気を失いかけている世界景気の回復を祈り、あわせて今年の皆さま方の御多幸をお祈り申し上げます。



高野山真言宗 甲武信地区
枢議・参与・檀信徒研修会

期日 平成23年11月28日(月)～29日(火)
会場 箱根湯本温泉 湯本富士屋ホテル
〒250-0392 神奈川県足柄下郡箱根町湯本250-1
TEL 0460-85-6111 FAX 0460-85-6142

主催 高野山真言宗枢議会・参与会
共催 東日本支所協議会
第二地域伝道団
担当 埼玉檀信徒協議会・参与会埼玉支部
後援 埼玉宗務支所

十一月二十八日・二十九日の二日間、寿楽院総代の皆さん右の研修会に参加いたしました。
※「お大師様と曼荼羅」講師・種智院大学教授―中村幸真先生。
※落語・噺家―三遊亭竜楽師匠。
※「いかせいのち今を生きる」講師・本山布教師・長尾恵澄僧正。等が行われました。三百人以上の参加者で盛大な研修会でした。

空海の言葉 シリーズ

道を聞いて動かずんば、 千里いづくんか見ん

●●いかに立派な仏の教えを聞いても、
自分が体を動かさなかつたら、千里の道が
少しもはかどらない。

いくら難しいお経が理解できても、それは仏教知識が増えただけのこと、道理がわかったことにはなりません。頭のなかで仏教知識で満タンになっていたとしても、家族と朝の挨拶さえもしたことがなく、電車の中で体の不自由な人に席を替わろうともしない人は、あの世で仏さまに嫌われます。

和尚から、「愛語(やさしいことばをかけること)を教わったならば、さつそく翌日から、家族に、「おはよう」ありがとう」と明るい声で語りかけ、電車の中では、お年寄りや体の不自由な人に、「替わりましょう」と、声をかけてさつと席を立てあげてほしいのです。
それが、道理がわかるための第一歩になるのです。

